

◆悲喜交流

名畑 應願著

出席者 武生・藤原教授、上杉・細川
助手、他副手學生四十餘名

指導 細川助手

日野環教授

佛教學會

「六要鈔」に出する悲喜交流の語が標

題とされた本書は、著者の日々の信仰生活の集録である。「大事を思ふ」他十八項、夫々生活上の機縁をとらへて、或ひは聖經に基き、或ひは妙好人の故事を泛べて著者の信仰が語られている。(三十一年四月刊・B6・二三〇頁・三百圖・永田文昌堂)

◆見學旅行

六月十七日 磯長太子廟及び當麻寺等
參加者 二村教授以下五十五名
道明寺——磯長御廟・教福寺——當麻寺——久米寺——櫻原神宮——京都

◆五月九日 新入生歡迎會 於大德寺眞珠庵 山口・山田・横超・舟穂・富貴原教授以下二十數名出席。山口教授より歡迎の挨拶があり、會員一同の自己紹介の後、歡談數刻、眞珠庵内を見學して午後五時散會。

◆發表者

一、真宗教學に於ける「力」の意義に就て 修士課程一回 越本玄雄

一、二河譬における忽然の問題

博士課程一回 藤 光永

出席者 上杉・細川助手・永田・廣瀬

・幡谷副手他大學院學生十五名

◆哲學倫理學會

◆六月十六日(新入生歡迎會及び例會) 「愛と認識」 河瀬 教授

出席者 世良・立花教授外十五名

◆宗教學會

◆宗教學會例會

日時 六月二十三日

◆彙報
眞宗學會

◆新生歡迎會

五月二十三日 午後三時 於會議室
出席者 名畑・稻葉・日野・藤原教授

上杉・細川助手、外副手學生五十名

◆第一部(文學部主催)例會

五月三十日 午後三時 於會議室

發表者 信じ得ざる悩み

◆輪讀會(叢林集)

よつて辭任せられる。

四回生 上藤 俊夫

數行信證阪東本の筆跡に就て

六月二十八日 午後三時 於研究室

出席者 坂本・福原兩教授他先輩學生

「信せんとする意志」に就て
研究發表

草野 勝一

- 十名
- ◆ 輪讀會 「無門關」 每週木曜
- ◆ 教育學會
- ◆ 五月七日 新入生歡迎會
出席者 河瀨教授、前田教授、柴田助教授、學生十一名
- ◆ 社會學會
- ◆ 五月二十一日(月) 山口透講師並新入生歡迎會 於第四十四教室
出席者 白井、池田、豐島、山口、各講師並學生十二名
- ◆ 六月二十三日(土) 例會 於第四十四教室
- ◆ 五月三十日(月) 山口透講師並新入生歡迎會 於第四十四教室
出席者 白井、池田、豐島、山口、各講師並學生十二名
- ◆ 六月十六日(土) 午後一時 研究發表會
研究發表者並びに題目
一、備前國風土記逸文の史料的價値 米澤 康
- ◆ 國文學會
- 一、奈良時代に於ける壁畫について 高橋 正隆
- 二、續日本紀に表わされた奈良時代 (其ノ二) 山香 茂
- 宗祖著作に於ける左訓の性格 渡邊 貞磨
- ◆ 六月十七日(日) 國文學會大會
平家物語に於ける史實の歪曲 正岡子規の短歌論 濑邊 勸
- 近世話藝の成立 關山 和夫
- 撰集抄の説話について 釜田 弘章
- 今昔物語に於ける地獄 松下千壽加
- ◆ 史蹟踏査 五月二十日(日) 宇治・醍醐方面
宇治平等院の解體修理展を見學の後、日野法界寺に次いで醍醐三寶院及び五重塔解體特別展を見學。指導、五來教授、堅田助手以下學生十八名
- ◆ 會誌『尋源』第二十四號發行。
- ◆ 六月九日
- 「近時の歴史學について想うこと」
三品彰英講師ほか。
- ◆ 佛敎史學會
- ◆ 史蹟踏査 五月十三日(日)
指導 藤島教授
奈良博物館で來迎美術展を見學した後、新藥師寺へ行き、夕刻解散。
- ◆ 輪讀會 每週水曜日第四限
「未解放部落研究の一考察」 藤田 講師
- ◆ 國史學會
- 一、彼岸記について 墓山 修
二、真宗寺院史の一、二の問題 (沙石集) 松枝 信義
- ◆ 每週木曜日第四限

- ◆ 御文の假名遣 伊勢物語の研究 藤原 鶯山 樹心 德悠
- 神田本白氏文集の假名字體 春風馬堤曲についての疑問 貫之晩年の歌風 蘭本唯一 伸野 良一
- ◆ 東洋史學會・支那學會 毎週木曜日午後二時
- ◆ 輪讀會 於 研究室 每週木曜日午後二時
- 「漢魏兩晉南北朝佛教史」
- 一大學院佛教文化專攻學庄による
每週土曜日二時限 「舊唐書」文苑傳
每週土曜日三時限 「三十二史劄記」
- ◆ 「京劇」聽劇 於 南座 六月二十七日 午後五時半より
指導 中田・水谷教授、支那學專攻學
生全員參加
- ◆ 英文學會
- ◆ 新入生歡迎會 五月七日 於・千本スター食堂
出席者 杉平教授、外學生十數名
◆ 英文學讀書會

- 五月十二日 於・研究室
三十一年度第一回讀書會
- 六月二十三日 於・研究室
發表者 倉橋公之「Sons and Lovers
及 The Lady Chatterley's Lover」
にあらはれたローレンスのエロ
イズムと夢」
- 發表者 小森昇、「Pope's Essay on
Criticism」於け『Nature』と Wit
について」
- 次回は九月中旬開催の豫定。
- 受贈交換誌 (i)
(昭和三十年七月—十一月)
- 第七卷一、二號
第一百六十八號、
第百六十九號
- 文學部論叢
北海道大學文學部紀要 第四卷
第三卷
第一卷二號
密教文化 第三十一號
- 三重縣立大學研究年報人文科學
第六卷二號
第三卷三、四號
- 横濱市立大學紀要
立命館文學 第百二十四號
第三百四十九號
龍谷大學論集
第二十七號
第一百二十五號
第三百四十九號